

下記の業務について、一般競争入札を行うので、静岡県財務規則（昭和39年静岡県規則第13号）第34条の規定に基づき公告する。

令和4年4月5日

静岡県知事 川勝平太

## 1 入札執行者

静岡県中部健康福祉センター所長 土屋 正純

## 2 入札に付する事項

### (1) 入札番号

第2号

### (2) 業務名

令和4年度指定難病・特定疾患システムデータ入力関連業務補助者派遣業務委託

### (3) 業務内容

入札説明書及び業務仕様書による。

### (4) 業務期間

令和4年5月9日（月）から令和4年8月12日（金）まで

### (5) 業務場所

静岡県中部健康福祉センター地域医療課

### (6) 入札方法

総価による。郵送又は電送による入札は認めない。

落札者の決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

## 3 競争入札参加資格

次に掲げる要件をすべて満たす者であること。

(1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 静岡県が発注する一般業務委託に係る競争入札参加資格において、「総務事務」の営業種目について競争入札参加資格を有する者又は新たに競争入札参加資格の審査を受けて参加資格を認められた者であること。

(3) 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律第5条第1項の規定による許可を受けて一般労働者派遣事業を行う者であること。

(4) 静岡県の物品調達等及び一般業務委託に係る入札参加停止基準による入札参加停止期間中の者でないこと。

(5) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立て又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てがなされていない者であること。

(6) 次のアからキのいずれかにも該当しない者であること。

ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に該当する団体（以下「暴力団」という。）

イ 個人又は法人の代表者が暴力団員等（法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。以下同じ。）である者

ウ 法人の役員等（法人の役員又はその支店若しくは営業所を代表する者で役員以外の者をいう。）が暴力団員等である者

エ 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員等を利用している者

オ 暴力団若しくは暴力団員等に対して、資金等提供若しくは便宜供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し又は関与している者

カ 暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者

キ 相手方が暴力団又は暴力団員等であることを知りながら、下請契約、資材又は原材料の購入契約その他の契約を締結している者

#### 4 入札者に求められる義務

この入札に参加を希望する者は、令和4年4月14日（木）正午までに、静岡県中部健康福祉センター地域医療課へ入札への参加の意思を示し、上記3の資格を有することの確認を得なければならない。

#### 5 入札説明書等の配布期間、配布場所及び担当部局

##### (1) 配布期間

公告の日から令和4年4月12日（火）まで（土曜日、日曜日を除く、午前9時から正午まで及び午後1時から午後4時までとする。）

##### (2) 配布場所及び担当部局

〒426-0075 静岡県藤枝市瀬戸新屋362-1

静岡県藤枝総合庁舎3階 中部健康福祉センター地域医療課疾病対策班

電話番号054-644-9273

#### 6 入札執行の日時及び場所

日時 令和4年4月21日（木）午前10時00分

場所 静岡県藤枝総合庁舎3階 中部健康福祉センター会議室

#### 7 その他

##### (1) 契約手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨

##### (2) 入札保証金及び契約保証金

免除

##### (3) 入札の無効

本公告に示した競争入札参加資格のない者のした入札及び入札に関する条件等に違反した者のした入札は無効とする。

##### (4) 落札者の決定方法

予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。

(5) 契約書作成の要否

要

(6) 詳細は入札説明書及び業務仕様書による。